

# インフラ整備70年 講演会(第26回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

## 「北海道のフロンティアを拓く苫小牧港の開発」

### <講演プログラム>

- I はじめに DVD「苫小牧港開港50周年記念」
- II 苫小牧港へ懸ける思い、祖父の意思を引き継いで
- III 苫小牧港整備に至る道程
- IV 国策としての開発とそれを実現する修築計画
- V 掘り込み港湾の建設と第一船入港へ
- VI 時代に応じた利用の変遷と東港区の開発
- VII 北海道経済を支える苫小牧港の現在と  
苫小牧市の発展そして未来への展望
- VIII おわりに

### <講演者> (講演順)

岩倉 博文 苫小牧市長

高橋 喜一 元北海道開発局 港湾空港部長

栗田 悟 (一社)北海道建設業協会副会長  
(司会進行)

松田 静雄 太陽工業(株) 顧問

川合 紀章 日本データサービス(株) 副社長

佐々木 秀郎 前苫小牧港管理組合 専任副管理者



RORO船 三隻同時着岸2018



<すず玉を割って入船を祝った入船式 (昭和38年)>



港かてきる前の苫小牧の前浜 (明治～大正)



苫小牧駅前  
祝苫小牧港起工の塔 (昭和26年)

写真提供：苫小牧港管理組合

2021年 **12月16日** (木) 講演会：15:00～17:00 (入室開始予定：14:50～)

場所：ZOOMウェビナーによるライブ配信

定員：1,000名

\*本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております。  
申込先：<https://www.jcca.or.jp/infra70/20211216/>

苫小牧港は、港湾建設は不可能とされていた平坦な砂浜の漂砂海岸に陸上を掘り込む工業港湾として建設された。昭和38年に第一船が入港し、その後、石油ショックも乗り切り順調に港勢の拡大は進み、北海道の経済を支え東京以北で最大の港湾となった。苫小牧港の構想は、大正13年に遡るが、現在の苫小牧港の基となる港湾計画は昭和27年に策定される。一方、建設には漂砂抑制や大規模掘り込みなど、新しい港湾建設技術が必要とされ多くの先人の苦勞により、現在の苫小牧港は成り立っている。

講演では、港湾管理者である苫小牧市長から苫小牧港にかける思いを語る。続いて、苫小牧港の構想から計画への推移、漂砂調査と実験、漂砂抑制技術、第一船入港の喜び、その後の苫小牧港発展の過程と現在の苫小牧港と未来への展望について講演する。

主催：(一社)建設コンサルタンツ協会

後援：(公社)土木学会

インフラ整備70年講演会(第26回)  
北海道のフロンティアを拓く苫小牧港の開発

《講演者略歴》

岩倉博文 (苫小牧市長)	栗田悟 ((一社)北海道建設業協会副会長)
高橋喜一 (元北海道開発局港湾空港部長)	松田静雄 (太陽工業(株)顧問)
川合紀章 (日本データサービス(株)副社長)	佐々木秀郎 (前苫小牧港管理組合専任副管理者)

会 費

【講演会】無料 (どなたでも申し込みできます)

申し込み方法

- お申し込みは、建設コンサルタンツ協会HPより「インフラ整備70年」バナーをクリック頂き、「講演予定」のお申込みページからお願いします。

建設コンサルタンツ協会HP : <https://www.jcca.or.jp/infra70/20211216/>

(注意事項)

- お申し込みは先着順となります。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- ZOOM入室方法(事前登録が必要)は講演当日の2日前までに送付させていただきます。
- ご提供いただいた個人情報は本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等をご遠慮頂きますようお願いいたします。

問合せ先 E-mail : [infra70@jcca.or.jp](mailto:infra70@jcca.or.jp)

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

\*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定>

第27回講演会 2022年1月24日(月) 15:00~17:00

「大阪湾フェニックスプロジェクト ~近畿圏における廃棄物の広域処分~」

講演者：石田省三 (元運輸省港湾局環境整備課廃棄物対策室長)  
英保次郎 (元兵庫県環境整備課課長補佐)  
吉村庄平 (大阪湾広域臨海環境整備センター副理事長)  
樋口嘉章 (元大阪湾広域臨海環境整備センター常務理事)

場 所：ZOOMウェビナーによるライブ配信